



中学校での防災避難訓練

Sakaiku 6



西村連合会長から説明



月州中学校での説明を錦西小学校児童300名避難場所と自助を重視と5/13説明済



14名の来賓のみなさま

- 説明者
- 堺市危機管理：山路室長（訓練の重要性）
 - 堺区自治連合：西村会長（避難場所・本誌内容）
 - 水道局危機管理：大前室長（貯蔵水）
 - 堺市消防署：黒田署長（訓練の総評）
 - 自治推進課：豊島課長（じゃんけん大会）



2026年4月23日（木） 生徒611名・来賓14名+教員

錦西校区 南海トラフ津波発生時は錦西小学校を基準として

北部・中部は… 浅香山小学校へ避難
東へ
南部は… 三国丘小学校へ避難
東へ

南海トラフ巨大地震による津波発生時に、水没すると想定されている三宝、錦西、市校区の生徒が通う月州中学校の全生徒 611名に対し授業の一環として「防災避難訓練」を実施。

- 内容：①万一津波が発生すると標高の高い東方面へ逃げるとなっておりますが、避難所はどこなのかは決まっておりました。市役所とも連携して**三宝、錦西、市校区地域別にどこへ逃げるのかを具体的に「〇〇体育館」が避難所になると初めて紹介。**
- ②災害発生時はア学校でいる場合イ自宅にいる場合ウ外出している場合などそれぞれの状況に応じた避難行動と避難場所を具体的に紹介。
- ③災害はいつ発生するか分からない。昼間家族は一緒ではなく仕事や学校や外出などそれぞれ別行動となります。そこで**万一の災害時「どこで集合するかを決めておく。」**
- ④学校で災害が発生した場合は、先生の誘導に従い団体行動で避難する。兄弟姉妹が心配と考え**「決して中学校から小学校へ行かない。」** 個人行動はしない団体行動を厳守。
- ⑤災害時は119や110番など緊急連絡を優先するため個人携帯は使えなくなります。**家族がバラバラになった時には「災害用伝言ダイヤル171」**があることを紹介。



避難所はどこ

■目的：2011年3月11日（15年前）発生した「東日本大震災」で岩手県の小中学校の児童生徒570人は全員無事に避難されました。日頃の訓練では学校上のグループホームへ避難することになっていましたが建物裏の崖が崩れるのを見て「もっと上の方へ避難しよう」と生徒が先生と相談し高台のデイスサービスまで避難することで全員助かったもので「釜石の奇跡」と呼ばれています。今回中学校の**611名の全生徒に伝えたいことは、釜石の事例にもあるように概念に捕らわれずに避難行動を行うこと自分の命を守る「自助」を基本として、高齢者や子供を先導する「共助」**「標高の高い東へ逃げる」「地域別の避難所へ避難」**災害時の防災に於けるジュニアリーダーとして決して無理はしない範囲で「自助」を念頭に行動して欲しい。**



避難誘導

■行動：「避難行動の3原則」①想定に捕らわれない。②状況下に於いて最善をつくす。③率先避難者になる。

来賓				議員				市役所				消防署		堺区自治連合協議会			
衆議院議員 黒田征樹代理	府会議員 中川あさひと	市会議員 山口典子	市会議員 小野伸也	堺区長 橋本隆之	堺市危機管理室長 山路智志	水道局危機管理室長 大前琢郎	自治推進課長 豊島宣	堺消防署長 黒田裕幸	堺消防署参事 中原訓史	堺市自治連合会長 松村義孝	堺市自治連合副会長 西村、民浩	堺市自治連合理事 飛石隆男	堺区三宝自治連会長 杉本岳洋				

集団避難行動

学校に居る時

三宝小学校
月州中学校
錦西小学校
市小学校
三国丘中学校

三宝校区

家に居る時

家にいるとき
三宝公園を基準として
北部・中部は… 浅香山中学校へ避難
南部は… 三国丘中学校へ避難

市校区

家に居る時

家にいるとき
市小学校
三国丘高等学校



堺市初の中学校授業で「防災避難訓練」を実施！

「釜石の奇跡を堺でも！」

堺区自治連合協議会 副会長
堺校区福祉委員会協議会 会長
西村、民浩